



第 4 号

76 期の



— 内容 —

- 学年主任より
- 1 学期期末考査講評
- 夏休みの課題・連絡
- コラム ～私が今、伝えたいこと～
- 夏休み明けの予定



学年主任より

「あっという間に 1 学期が終わった。」

僕はそう思いますが、皆さんはいかがでしょう？

76 期生のスローガンである『76 期の WA』は大きくなってきていますか？

そんなことを気にしながら 1 学期の皆さんの様子を見ていました。

第 3 号で僕が次に朝読で読む本を紹介しました。今読んでいる途中ではありますが、この本に出逢ってよかったなと思っています。出逢いについて一言。良い縁は勝手にやってくるものではありません。自分から一歩踏み出すことで、良い縁が生まれるものだとは僕は思っています。ぜひ皆さんも、どんなことにも一歩踏み出してみましよう。

『結局、まじめな人が一番強い！この性格は一生の財産！』の裏表紙に書かれている言葉を皆さんに送ります。

頑張っている人を
応援したい人が必ずいます！

(76 期学年主任 伊藤)



1 学期期末考査講評

現代文

お疲れさまでした。以下に思ったことを書かせていただきます。

①設問をきちんと読みましょう。

【二】問13「この作品の作者名を漢字で答えよ」→「羅生門」と答えている人が、両手で収まらない人数いました。

②受け答えを意識しましょう。今回「どういうことか」問題が多かったと思いますが、機械的に「～こと。」とつけていませんか。必ず、その受け答えが日本語のやりとりとして不自然でないかどうかを確認してください。

例えば、「テストの点数が悪くて悲しかった」という一文について「どういうことに対して悲しく思ったのか」と問われたなら「テストの点数が悪かったこと」と答えるし、「悲しかったとはどういうことか」と問われたなら「テストの点数が悪くて悲しかったということ」と答えませんか。

ただ、こういう言語感覚は日常会話ではなかなか身に付きません。

A「明日、漢字テストらしいで」

B「えっ、どういうこと？」

A「休校と重なってできひんかったからずれてんて」

日常会話ではこれでよくても、現代文の記述の解答としては、「休校のためできなかった漢字テストが明日に日程を変更して行われるということ」のように答えるべきです。現代文は日本語だから勉強しなくても大丈夫。とか思っている人は、はやく日常会話とは（全然とは言いませんが）別物という意識を持ちましょう。そして、正しく丁寧に答えるということを少しずつ学んでいきましょう。普段の現代文の授業や宿題の「みるみる現代文」での演習を大切にしようね。

古典

『高校の勉強を甘く見ている・・・』

採点していて一番感じたことです。いつまでも中学校の時と同じ勉強の仕方では困ります。

ノートを見返しただけ、ワークをやっただけ。表面をなぞっているだけの勉強。普段から復習せず、テスト前に詰め込んだだけの勉強。だから応用問題を出されたり、少しひねられたりしたら、手も足もでない。徹底的に理解し、徹底的に暗記するまで時間をかけてやりこむ。普段の授業の復習小テストから、満点をねらって臨むような意気込みがほしいです。

予習の指示を出した際には、きっちりと予習をできていますか？

意味調べや口語訳を自力で時間をかけてやってきている人と、まったく何もしていない人（あるいは訳を写してきているだけの人）とでは大きく力の差が開いています。

今回70点以上取っている人もいますが、そのような人は本当に緻密な努力を積み重ねています。

今ならまだまだ取り返すことができます。わからないところはぜひ質問に来てください。

今後は文法も助動詞に進み、負荷も大きくなってきます。

授業に集中して取り組み、一緒に基礎を固めていきましょう。

現代社会

今回は【2】問4に、論述問題がありましたが、1年生ということもあって文章表現が幼稚なものがみられました。主語と述語を明確にし、専門用語を的確に用いて、（話し言葉ではなく）書き言葉で文章を表現することを心がけましょう。

また、ニュアンスが正しく伝わる文章を書きましょう。例えば「政府の介入を最低限にする夜警国家から、治安維持や社会的弱者の救済のために、政府の介入が大きい福祉国家へと変わった」という答案の場合、治安維持が夜警国家のときに行われていたというニュアンスが出ずに、福祉国家のときになってはじめて治安維持を行うようになったというニュアンスが出て、誤った内容となってしまいます。

夏休みの宿題で、論述課題を課しますので、文章の「構造」を意識して、文章を作成しましょう。

数 I

今回の考査の感想としては、答案づくりがまだまだの人が多いかと感じました。今後は他の人が見てどう考えたかが分かる答案づくり、見やすい答案づくりを意識しながら解いていきましょう。以下、それぞれの問題について書いていきます。

- ① 集合に出てくる記号を確認しておきましょう。集合の要素を表すのか、集合を表すのかなど。
- ② 問題集にあった問題ですが、どのような関係にあるかを読み取ることができるかがポイントです。
- ③ 必要条件、十分条件等に関する問題ですがもう一度確認してください。
- ④ センター試験等に出ていた問題を作り替えた問題ですが、素早く問題を読み取り計算をしていかないとはいけません。このような形式の問題にも慣れていきましょう。
- ⑤ 反例に関する問題ですが、仮定は成り立っていて結論が成り立たない具体的な数字を挙げてください。
- ⑥ 週末課題にもあった問題ですが、不適である理由等きっちりと書くようにしてください。自分が見てわかる答案でなく、他人が見て考え方がわかるような答案を作ってください。
- ⑦ (1) 対偶とは何かを確認しましょう。
(2) 対偶を証明すればいいです。場合分けをしますが省略しないですべてを書くようにしたほうが良いです。3()の式で()内は整数を書くようにしてください。対偶は真であるから元の命題も真は必ず書きましょう。
- ⑧ (1) 基本的な背理法による証明ですが、 a, b はどのような数字かを必ず書きましょう。
(2) 求め方を必ず書いて解くようにしてください。
- ⑨ a の場合分けをして考えてください。また、答えの吟味も忘れないようにしてください。
- ⑩ 平行移動、対称移動に関しての問題ですが、平行移動で置き換えを間違えている答案も多かったです。確認しましょう。

細かい点で抜けている答案が多いですが、意識することによって見えてくると思います。答案づくり意識して書いていきましょう。

数 A

今回のテストのテーマは、「基本的な内容をきちんと理解できているか」を問うことでした。

あなた方の2年後、つまり3年生のこの時期には、どの問題もスラスラと解けるようになっておかなければなりません。

平均点は約65点で、出来はおおむね良かったように思いますが、間違えた問題は必ず解けるようになってください。

- ① 問題を見た瞬間、すぐに解法を思いつかなければならない基本問題です。
- ② 授業や週末課題で扱ったパターンです。指定された整数を作るためには、どこの位の数から確定していくのかを考えられるようになってください。
- ③ 半分以上の人が集合の記法を正しく使えておらず、減点されています。つまり、「理解したつもりになっている」ということです。正しい用語・記法を使えるようになりましょう。間違った用語・記法・でたらめを書いてしまうと、採点者からの印象は悪くなります。印象が良くなる解答を書けるようにトレーニングしていきましょう。
- ④ 辞書式の順列。A○○○○○のパターンを数えた後、AB○○○○のパターンを数えている答案が多々ありました。当然 A○○○○○の中に AB○○○○も含まれるので、同じものを複数回数えているということです。場合の数の本質は、もれなく、重複なく数え上げることです。
- ⑤ 授業では触れる程度の内容であったためか、正答率は低かったです。教科書・青チャートの説明をよく読んでおいてください。
- ⑥ 間違いを指摘し、正しい解答を作る問題です。「C 地点または D 地点を通らない」の意味は、「C 地点を通らない、または D 地点を通らない」という意味です。字面だけに騙されず、正しい意味を読み取れなければなりません。

理数物理

学年の平均点は 48.9 点でした。50 点は超えると予想していましたが、計算量の多さと有効数字に苦戦したのかなという結果でした。大問 1～3 があまり解けていないと、厳しい点数になっていると思います。

大問 1 は基本的な運動の小問集合ですが、これに時間がかかってしまった人は素早く解く練習をしておく必要があります。大問 2 の作図の問題ですが、丁寧に書いてください。ここでは、「張力」と「弾性力」の混同、摩擦力の区別とはたらく方向を間違っている人が非常に多かったです。大問 3 は力のつり合いと作用・反作用の違いが問われる問題でした。授業で説明した両者の違いについて、改めておさえなおしておいてください。

大問 4 は斜方投射の基本的な問題でした。今回出題した記述問題は重要なポイントを多く含んでいるので、自分の解答に足りない部分はどこかを見比べておいてください。大問 5 は力のつり合いの問題でした。授業でも再三伝えていますが、力のつり合いの式を立てることが最も重要です。2 学期の学習にも大きく関係するので、特に復習しておいてください。大問 6 は発展問題で、後半の部分はセンター試験の過去問でした。ですが、学習した知識を使えば解ける問題なので、ぜひリトライしてみてください。

全体的に中間考査から点数が下がりましたが、その中で点数が上がった人はよく頑張ったと思います！反対に、今回点数が下がった人、勉強したけど点数がそこまで振るわなかった人も、諦めずに努力を続けてください。決して無駄ではありません！2 学期からも一緒に頑張りましょう！

理数化学

学年平均は62.4点でした。問題集の問題からも多く出題しましたが、思っていた以上に問題集をきちんとやってこないという印象を受けました。難関大学になればなるほど、入試では見たことのない題材やテーマを扱うことが多くなります。まずは、見たことのある問題をできるようにしましょう。また、見慣れない題材やテーマであっても、誘導や本文中のヒントで答えを導くことができるようになっていますが、それには読解力が必要です。今回のテストの記述問題では、用語の意味や日本語の文章をきちんと理解していない（主語と述語がおかしいなど）人が多かったと感じています。また、四則計算（とくに掛け算と割り算）が苦手な人もいますよね。高校生でするので、分数や少数の四則計算ぐらいはできるようになりましょう。

記述問題のアドバイスです。記述問題では、模範解答中に「キーワード」が存在することも多くあります。今回の問10(2)では「ファンデルワールス力（分子間力でも可）」、(3)では「極性分子、無極性分子、極性による引力（静電気力でも可）」というように、文章を組み立てる前に、まずは出題者が答えさせたいキーワードを考えてみるとうまくいくことも多いので、試してみてください。

最後に、問8(3)についてのみ解説します。塩素には ^{35}Cl と ^{37}Cl の2種類があるため、塩素分子 Cl_2 には「 $^{35}\text{Cl}-^{35}\text{Cl}$ 」「 $^{35}\text{Cl}-^{37}\text{Cl}$ ($^{37}\text{Cl}-^{35}\text{Cl}$)」

「 $^{37}\text{Cl}-^{37}\text{Cl}$ 」の3種類が存在します。(1)より ^{35}Cl の存在比が75%と求まるので、 ^{37}Cl の存在比は25%となります。よって、各塩素分子の存在比は右表の通り。問題より、塩素の質量が284gであるので、物質量は $284\text{g} \div 71.0\text{g/mol} = 4\text{mol}$ 。このうち、 $^{35}\text{Cl}_2$ の存在比は $9/16$ なので $4\text{mol} \times 9/16 = 2.25\text{mol}$ 。

	^{35}Cl	^{37}Cl
^{35}Cl	$\frac{3}{4} \times \frac{3}{4} = \frac{9}{16}$	$\frac{3}{4} \times \frac{1}{4} = \frac{3}{16}$
^{37}Cl	$\frac{1}{4} \times \frac{3}{4} = \frac{3}{16}$	$\frac{1}{4} \times \frac{1}{4} = \frac{1}{16}$

(文責 中澤)

理数生物

考查の学年平均は52.1点でした。大問Ⅰ～Ⅳの代謝の問題は、基本的な内容を問うているものがほとんどでしたので、出来ている人が多かったように思います。大問Ⅵの問3と4はセミナーの発展問題45を理解していれば解けるはずの問題です。DNA量と細胞周期のそれぞれの時期の関係性について今一度復習しておきましょう。

また、そのほかも含め、必ずテストのやり直しをしましょう。

生物の問題は、語句を覚えるだけではいけません（語句を覚えなくてもよいという意味ではありません）。見たことのない実験について、長い文章や図から読み取って理解し、結果を予測したり、そこからさらに考察することがもとめられます。問題集やテストなどを通して慣れていきましょう。また、普段から文章に触れる習慣をつけておくとよいと思います。

英語 C

まず、期末考査の結果よりみなさんに意識して身につけてほしい力を2つ挙げます。

①「確かな語彙力」

シス単・教科書の単語・熟語はしっかり身につきましたか。自信がない場合は、夏休みにもう一度復習をしておきましょう。今学習しているものは、全て初歩的・基本的なものです。「なんとなく意味を知っている」というだけでは不十分です。しっかり使い方を身につけ、会話や作文で自信を持って使用できる語彙を増やしていきましょう。

②「構造・文脈を意識し和訳をする力」

和訳をする際、「なんとなく単語の意味をつなぎ合わせて文にする」という癖が抜けていない人がいますが、それではもう立ち行かないところまできています。日々の学習から、文の構造や単語の品詞を意識し、キーポイントを理解していることをアピールできるような和訳を作成できるよう、練習していきましょう。また、長文内の和訳では、前後の文脈を意識してそれに合った意味を推測して訳す力も必要です。例えば、11(3)では、当該段落のレースの展開を理解し状況を想像した上で訳すことができれば、よりよい和訳ができていたと思います。

全体として、中間考査に比べて、取り組みの差が顕著に表れた結果となりました。1学期が終わり、日々の予習・復習、授業への参加度、小テスト・定期考査に向けた勉強、その他自主的な学習の仕方など、自身の取り組みを振り返る時が訪れています。みなさんの英語の力は、それぞれの取り組み方ひとつで大きく変わります。この夏休みという絶好の機会を活かし、不十分な点を復習する・普段はできない学習をするなど、2学期のさらなる飛躍に向けた準備運動をしておくようにしましょう。

英語 G

今回目立った皆さんの弱点を以下に挙げます。一つ目、「冠詞」が分かっていないのでは？という点。名詞の複数形のsが抜けていたり、a/the/無冠詞の区別が分かっていない解答が多数見られました。『Breakthrough(参考書)』の第14章「名詞と冠詞」の項目を、この夏休みに自学しましょう。Writingの際にも役立つはず。二つ目、主語と動詞の数など不一致問題。例えば大問6(2) Two years have(×has) passed…主語は Two years と複数形です。三つ目、リスニング力が弱い。特に、今回の Part 2 の dictation です。耳だけに頼ってしまって reads の s が抜けていた人が多数でしたが、文法的に考えたらわかったはず。書いた後に読み直すようにしましょう。また、リスニング力を伸ばしたい人は、dictation の練習をすることをお勧めします。『Focus on Listening』のテキストの後ろの dictation 問題で何度も練習しましょう。その他、おびただしい数のスペルミス。以下に挙げるので、二度とないように。例：jogging(×joging), being(×beeing), happened(×happend), invented(×invited), two(×tow!!), university(×univercity), belong to(×in)など。中間テストの時に厳しく注意した「字の雑さ」は少し改善され、その点は良かったと思います。ただ、並べ替えでの写し間違いや抜けなど、ミスはやはりまだまだ多い点もったいないです。気を付けましょう。



夏休みの課題・連絡

ここに掲載している教科以外にも、日々の宿題等で課題が出されているはず。日々の学習も含め、岸高手帳を活用して、計画的に学習を進められるようにしましょう。

現代文・古典

国語科課題はすべて始業式の日に各クラスで回収して、国語科に持ってくること。

《現代文》

- ・『みるみる実力アップ現代文2』 10～12 (p22～p27)
- ・『みるみる実力アップ現代文2』 p60～p63←こちらは2学期中間考査の範囲になります。

《古典》

- ・古典文法プリント課題
- ・漢文必携チェックノート4～11 (p8～p23)

現代社会

論述課題に対する回答を記入した「現社 夏休みの宿題」というタイトルのプリント 1 枚を、夏休み明け最初の授業のときに、教科担当者に提出してください。

数 I ・ 数 A

青チャートの練習問題またはエクササイズの問題をノートに解く。

(ルール)

1. 解いた問題の合計レベルが数 I 40以上、数 A 40以上になるようにする。
2. △や×ではレベルの取得を認めない。必ず○にした形跡を残すこと。
3. 解いた問題数は問わない。
ただし、1つの問題でカウントできる○の回数は1回とする。
Lv.4を20題解いてもLv.2を40題解いても構わない。
4. 解くノートは4STEPとは別のものにIとAをまとめて1冊以上とする。
5. 教員検印欄に合計レベルを記入すること。

別紙にて連絡しているのでそちらを参考のこと。

理数物理

課題プリントを用意しています。夏休み明け**初回の授業**で提出してください。

また、その日に小テストも予定しているので、**ためずにしっかりと取り組んでください。**

理数化学

- 期末考査の解説を作成せよ。
- 自分で課題を設定し、実践せよ。

上記2点について、提出用ノートにてその成果を示せ。成果はどちらも成績に反映させる。提出は**2学期中間考査時**とする。

理数生物

推薦図書（※課題ではありません）

大きな書店でよく売られている『生命とは何か WHAT IS LIFE?』（ダイヤモンド社）は1学期で学習した内容を深めていて、読みやすいと思います。夏休みにぜひ読んでみてください。

音楽

一学期後半から取り組んでいる作詞・作曲を完全に仕上げておくこと。8月の**2回目**の授業から発表会を実施します。楽譜はていねいに書いて、提出できる状態にしておいて下さい。

皆さんの名作を期待しています。

書道

ペン字 実務

◎P.31 迄

- ※ 記入欄の無い部分は、白コピー紙を利用して作成のこと。
- ※ 水性ボールペン0.5～0.7 使用

英語 C

1. Reading 1 (Textbook p.142~149)に関するプリント

物語なので英語の表現も含めてゆっくり味わうこと。プリントは答え合わせをして**初回授業**にて提出。

2. 絵日記(A4 サイズ一枚)

夏休み中のある日の出来事とその感想を、絵と英文で自由に表現すること。

絵：色を塗る。写真等を加えることもOK。(ただし、写真は顔のわからない物とする。)

英文：黒のサインペン・ボールペンで、欄の8割以上は書くこと。

その他：**初回授業**で口頭発表・提出。優れた作品は掲示します。

3. シスタン

●範囲・・・「76期 システム英単語 小テスト進度表」を参照

●取り組み方法

①7/27(火)~8/6(金)

範囲の単語、同意語、反意語、派生語をしっかり勉強してから、右下のQRコードからサイトに飛び、解答を送信すること(上記の期間以外は解答できない)。

<https://docs.google.com/forms/d/1c56a8tR0nAgMW43c1aQXk3KrPY-m6nyttlGEiWyHu8Y/edit?usp=sharing>



答えに関しては、8/10(火)に、学年ブログにURLを載せるので、各自で確認しておくように。8/16(月)には、英語科前のホワイトボードにも張り出しておきます

②8/10(火)~8/20(金)

範囲の単語、同意語、反意語、派生語をしっかり勉強してから、右下のQRコードからサイトに飛び、解答を送信すること(上記の期間以外は解答できない)。

<https://docs.google.com/forms/d/1HPafuP-PkoC3C8rpyBU57CQFRPX9u9XKpFa1u12zZQ/edit?usp=sharing>



答えに関しては、8/23(月)に、学年ブログにURLを載せるので、各自で確認しておくように。同日に、英語科前のホワイトボードにも張り出しておきます。

●注意

- (1) 正答数は成績に入れないので、ズルをせずに、自分の勉強の成果を知るために取り組むように。
- (2) QRコードを読み込めない人は、学年ブログの7/26(月)の記事にある学年通信にURLを載せているので、そこからサイトに飛ぶように。
- (3) 上記期間中に、スマホやパソコンが使えない(かもしれない)人は、7/26(水) 16:30までに英語科三好のところに相談に来るように。

(4)夏休みの範囲だけでなく、1 学期の範囲の復習や 2 学期の範囲の予習もしっかりしておくように。

英語 G

1. English Essay～My favorite thing～(B4 用紙一枚)

内容・締め切りなどについては配布プリント参照。

2. 文法復習問題

●範囲・・・時制、助動詞、受動態

●取り組み方法

①7/27(火)～8/6(金)

上記の範囲の文法項目をしっかり復習してから、右下の QR コードからサイトに飛び、解答を送信すること(上記の期間以外は解答できない)。

<https://docs.google.com/forms/d/1vJsW6Fo0F8TfPEGbEPr9c6P4ACmyW7hkriv3Y6ZINow/edit?usp=sharing>



答えに関しては、8/10(火)に、学年ブログに URL を載せるので、各自で確認しておくように。8/16(月)には、英語科前のホワイトボードにも張り出しておきます

②8/10(火)～8/20(金)

上記の範囲の文法項目をしっかり復習してから、右下の QR コードからサイトに飛び、解答を送信すること(上記の期間以外は解答できない)。

<https://docs.google.com/forms/d/1Fo5au3OIQ8iMRPSWMk8teEkkBnHx4tLRply6y1nk72w/edit?usp=sharing>



答えに関しては、8/23(月)に、学年ブログに URL を載せるので、各自で確認しておくように。同日に、英語科前のホワイトボードにも張り出しておきます。

●注意

(1) 正答数は成績に入れないので、ズルをせずに、自分の勉強の成果を知るために取り組むように。

(2) QR コードを読み込めない人は、学年ブログの 7/26(月)の記事にある学年通信に URL を載せているので、そこからサイトに飛ぶように。

(3) 上記期間中に、スマホやパソコンが使えない(かもしれない)人は、7/26(水) 16:30までに英語科三好のところに相談に来るように。

進路指導部

①「オープンキャンパスに参加しよう！」レポート

オープンキャンパスに参加し、学んだ内容をレポートにまとめましょう。終了後は、進路ファイルに挟んで保管してください。

②「スタディーサポート活用 Book」

問題に取り組み、丸付けをして、スタディーサポート当日(8/26)に提出。



コラム ～私が今、伝えたいこと～

普段授業などでは言っていないが、生徒たちに今、伝えたいメッセージ（叱咤激励、アドバイス、感想、連絡）がないか、学年団の先生方に伺いました。

以下、回答があった先生方の分を載せています。

宮崎先生

「なんでこんなことせなあかんねん」「こんな意味あるん?」「面倒くさい」などと言いながら、渋々行動しているものはありませんか?どのような状況においても、その姿勢がある限りヒトは成長しにくいものです。決められた枠の中で、いかに100%に近いパフォーマンスができるか。そのために何をすればよいのかを考え、行動することが大事であり基本である。と私は考えます。

どんなことに関しても「どのようにすればより自分にプラスになるのか」「どうせやるなら全力でやってみよう」「やってみることでメリットが見えてくるはずだ」と前向きな姿勢を心がければ、どんなことでも自分の成長に活かすことができるはず。たとえ、それが本当に無駄な行動だったとしても、やってみたからこそ無駄であったと学ぶことができるものです。そしてそれは、本当の意味では無駄ではないものです。

なにせよ、失敗をする前提で行動をしてください。勉強や部活、友達付き合いや恋愛など、行動をしなければ何も生まれません。何も生まれなければ成長もできない。だから行動するのです。まずは小さな一歩から踏み出してみよう。

中辻先生

高校の1学期が終了しました。この1学期どうでしたか？

みなさんを見ていると、まだまだ高校生になりきれしていないな、と感じる場面が多々あります。プリント等を渡してくるときに、無言で渡す人、片手で遠くから渡してくる人、「先生プリント・・・」。

クラスでも常々言っていますが、挨拶をすること、自分の役割に責任を持つこと、自己中心的にならずに周りを見て行動すること、自分の言葉できちり説明すること・・・

高校時代に身につけておかないと後々（今も）苦労することがたくさんあると思います。

相手によって挨拶をしたり挨拶をしなかったりを使い分ける（？）人がいますが、そんなものは挨拶ではない。友達にも大人にも、誰にでも自然に挨拶ができ、礼儀正しくふるまえる人になってほしいです。

「勉強」とは？？

提出物の課題を出すことはありません。週末課題の解答を必死に写す人が多くいますが、それをやって何になるのでしょうか？

朝読の時間に、机の上に漢字テキストを置いてこっそり覚えている人がいますが、それで漢字は身につきますか？そもそも朝読の時間です。

入学からの4か月、一瞬ではなかったですか？高校生活は、始まったばかりのように思いますが、すぐに1年生は終わります。

真摯に勉強に向き合ってほしいと思います。

2学期も一緒に頑張っていきましょう。

伊藤先生

心に余裕のある生活を送りたい。

みんなにも心に余裕のある生活を送って欲しい。

心に余裕があるとはどのような状態か？まず、時間が緊迫している中で課題に追われている状況では心に余裕はできませんよね。そしたら、時間に余裕のある状況はどのようにして作ればよいのかということになります。

朝の「1分」ってめちゃくちゃ大事にしますよね。僕も数年前まで、起きてから家を出るまでの時間は秒刻みで動いていました。あきらかに夜の「1分」と比べて1分の重みは違いました。そこで感じたのが、心に余裕がないなということでした。そこからは、時間に余裕がある生活を送ることを心がけるようにしました。時間に余裕のある状態はストレスもあまりかからないように感じています。

今伝えたいことは、

時間を上手に使えるよう工夫すると一日がより充実する、そして心にも余裕ができるとういことです。

林（拓）先生

夏休み中に苦手なことを克服しましょう。なにも勉強のことだけではありません。部活動でも習い事でも、集中して取り組むことができる機会は貴重です。プロや上手な人などを参考にしたり、必死に試行錯誤したり、あらゆる手段をつかって毎日努力してください。夏休みが終わったところに上達が見えたらそれがやる気につながってそれからも続けていくことができるでしょう。夏休み明けにはスタディーサポートもあり、部活の大会も多くあることでしょう。少しでも成果につながることを期待しています。

曾野先生

アメリカ留学中、アメリカ人学生のオンとオフの切り替えのすごさに驚かされたのを覚えています。学期中は本当に熱心に勉強し、夏休み前最後の試験が終わるやいなや、スーツケースを引いて” Have a great summer ♪” と言いながら続々と寮(全寮制の大学だったので)を後にしていくのです。どんどんガランとしていく寮の中で、終わらない課題を半分泣きながら仕上げながら、学期中もっと頑張ればよかったと後悔したものです。大学生でしたので、夏は遠方に旅行したり、インターンと(職業体験のようなもの)をしたり、ボランティアで地域の子どもに勉強やスポーツを教えたり、過ごし方は様々でしたが、夏にしか出来ない活動をおもいきり満喫するというのが彼/彼女らの夏の過ごし方でした。言いたいことの一つ目、それは「高校一年生の夏、自分はこれをした!」と言える夏休みにしてほしいということです。私もこの夏、読書や映画鑑賞、地方にいる高校時代の友人のところに行って自然を満喫する、そして2学期からのために色々なことを整えようと思います(大人にはもちろん仕事も大量にあります)。二つ目は、「勉強してください」です。期末テスト明け、今思うことが必ずあるはず。夏休みはチャンスです。宿題を終わらせることで勉強は終わり、などというのはもってのほか。よく学び、豊かな夏休みを過ごしましょう。2学期に、また元気にスイッチを切り替えられるように!



夏休み明けの予定

最初の週の行事予定を載せておきます。授業の時間割に関しては、教室掲示されている曜日変更のプリントを確認しておくこと。

- | | |
|----------|-------------------|
| 8/24 (火) | 始業式、GLHS 講演会、授業×2 |
| 25 (水) | 授業×4、(PM) 大学出張講義 |
| 26 (木) | スタディーサポート、進路希望調査 |
| 27 (金) | 授業×4 |